

よしだより

東海村議会議員

第4号

みちひろ
よしだ充宏

平成25年8月

発行人：明日の東海村を創る会
(よしだ充宏後援会)

討議資料

発行責任者：会長 鈴木政浩
東海村白方1586-3 TEL 029-282-8666

Eメール : yoshida@tokai-tsukurukai.jp
ホームページ : <http://www.tokai-tsukurukai.jp>
Facebook : <http://www.facebook.com/tokai.tsukurukai>



みちひろ

よしだ充宏です。

皆さまには日頃より大変お世話になり感謝申し上げます。

梅雨が明けてから戻り梅雨で天候が不安定でしたが、梅雨明けの頃の猛暑が再来し、各地で記録的な気温となっております。皆さまにおかれましては、体調の管理に十分に気を付けて、この暑い夏を乗り切っていたきたいと思います。

さて、9月8日投票の東海村長選は、今後の東海村の在るべき姿を語る上で我々にとって非常に重要な選挙となります。

おさむ

よしだは、前副村長であった『やまだ修』氏を応援しています。

皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。



写真左から、よしだ東海村議、やまだ修前副村長、鈴木後援会長。

(8月6日、真崎コミュニティセンターにて)



鈴木後援会長

よしだ充宏後援会は、皆さまの御支援、御協力のお陰を持ちまして、2年目を迎えることが出来ました。昨年来、よしだ本人とともに「ブレることなく、あきらめずに」一歩一歩、弛まず確実に歩んできました。

東海村の将来を決めるのはまさに今を生きる世代の責務であり、それに携わる“人の思いや努力、行動”によって大きく左右されるものです。新たな時代を築き上げるために、皆さまと将来の東海村について一緒に考えることが求められています。一人ひとりが人生の主人公であり、東海村を発展させる主役です。これから、この村をどのような村にするのか、世界に誇れる村にするためにも、これまでの諸先輩方々の思いを引継ぎ、更に新たな歴史を創り上げていくことこそが今を生きる私達の果たすべき使命と責任です。

今回の村長選は将来の村づくりを決める分岐点であり、よしだ本人が推薦する「やまだ修」氏を応援します。御協力、御支援をお願いします。

おさむ

やまだ修氏 プロフィール

昭和36年4月26日生まれ(52歳)
高崎経済大学経済学部卒業
妻、子ども3人の5人家族



<職歴>

昭和61年～平成22年 茨城県職員
平成22年～平成25年 東海村副村長

<役職>

平成9年 総務部財政課 主計員
平成16年 商工労働部産業政策課 主査
平成18年 商工労働部産業政策課
産学連携推進室室長補佐
平成20年 企画部地域計画課課長補佐(総括)
平成22年 東海村副村長

主張：持続可能なまちづくり

東海村議会 6月定例議会報告

6月定例議会におけるよしだ村議の主な一般質問と原子力問題調査特別委員会における請願4件が不採択となった件を紹介いたします。

【一般質問①：住民にやさしい道づくりについて】

よしだ村議：**第5次総合計画、東海村みちづくり基本計画の基本通学路や住宅地帯等における生活道路の安全確保の具体的施策を伺う。**

建設水道部長：走りやすい道ではなく、安心して通行できる道をイメージし、自治会で道づくりを考える組織を立ち上げるシステム構築の必要があり、各自治会に協力依頼を行う。

よしだ村議：**他自治体は、ゾーン30を実施している。東海村も区域指定等の検討を行うべきと考える。**

経済環境部長：ゾーン30については駅周辺の区画整理区域を中心にひたちなか西署と導入に向けた協議を進めている。

よしだ村議：**あくまでも住民中心で住民と協議しながら区域等を決めること。**

【一般質問②：自主防衛の課題について】

よしだ村議：**第5次総合計画では、防災と減災の観点から住民と一体となった実効性のある防災体制をつくると言っているが、課題と機能向上の方策を伺いたい。**

経済環境部長：共助が重要で自主防災組織の結成を働きかけているが結成率は県平均にまで及んでいない。また、自主防災組織は自治会に加入している方を中心に結成されていることから自治会への未加入者の扱いが大きな課題である。機能向上のため、基幹避難所の運営訓練に主眼を置いた避難訓練を実施する。

よしだ村議：**自主防災組織の早期結成と自助のアピールを確実に行うこと。**

【一般質問③：TOKAI原子力サイエスタウン構想について】

よしだ村議：**TOKAI原子力サイエスタウン構想の平成25年度業務目標と内容は何か。**

総合政策部長：東海村が単独で具現化できるものではなく、茨城県、JAEA、近隣自治体も含め、国の協力も得て一体となって進める。推進体制は、意思決定機関の推進会議と実質的な検討機関の幹事会を設置する。平成25年度の業務目標は、7月中に第1回幹事会を立上げ、構想の目指す方向に沿って何をやるかを定める。

よしだ村議：**大きなテーマであり、大学も推進会議に含めるべきである。補正予算を念頭に先導プロジェクトの頭出しを行う必要がある。7月と言わず早く動く必要がある。**

総合政策部長：議員指摘のとおり、国、県、周辺自治体、大学、研究機関や住民の代表が加わった組織を考えている。先導プロジェクトは、推進体制を作りながら検討し早急に着手する。

よしだ村議：**基礎研究で終わりではない。継続性が非常に重要。ベースキャンプ化も考えること。**

【原子力問題調査特別委員会：東海第二原子力発電所に係る請願4件、全てが不採択】

原子力問題調査特別委員会では、東海第二原子力発電所に係る請願が4件提出され、1年以上にわたり審議してきた結果、5月14日の委員会で全て不採択となりました。

よしだ村議は、「エネルギー源の確保は、水や食料の確保と共に我々の暮らしに欠かすことが出来ない社会を安全かつ平和的に存続するための根本の一つである。原子力発電は、安定に供給できる有力なエネルギー源であり、将来のためにも選択肢を残すことが重要と考えている。」と意見を述べ、廃炉運転中止の請願3件に反対しました。

6月議会で委員会報告を行い、再度採決を行いました結果は変わらず全て不採択でした。

明日の東海村を創る会 第2回総会・村政報告会を開催！

平成25年8月6日、真崎コミュニティセンターにおいて、第2回総会・村政報告会を開催し、約140名の方々にご参加いただきました。よしだ村議はこれまでを振り返り、「支えてくれる皆さまのおかげでやってこれました。」と感謝の意を伝えるとともに、住民の皆さまに向き合う姿勢とご協力いただくことの大切さを肝に銘じてこれからも頑張りたいと決意を新たにしました。また、ゲストとして前副村長であった「やまだ修」氏をお招きし、東海村に対する熱い想い、融和を目指したまちづくり及び原子力エネルギー政策に対して中立的なお考えであることについてお話しいただきました。



オレンジクリーナー作戦（清掃活動）実施中！

「東海村をもっときれいにしたい！」という有志が集まって毎月実施しているボランティア清掃活動です。これまでに31回開催し、延べ400人以上の方々にご協力いただいております。

今後も多くの方々のご参加をお待ちしております。

